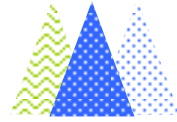




伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 唐木一平 幹事 唐木 章 会報委員長 大石ひとみ 第2882回例会 2019.9.26 No.1542



2019-20年度 RI テーマ

Rotary Connects The World

ソング それでこそロータリー 会長談話 唐木一平会長

秋らしく朝夕過ごしやすい気候となりました。

伊那の里におきましては例年のような秋を迎えられたと思いますが、会員の皆様におかれましては冬の寒さ、夏の暑さが子供の頃とは変わっていると感じられておられることと思います。世界では気候変動によって生まれ育った地を追われる人々もいます。



今月の23日よりニューヨーク国連本部で温暖化ガスの排出ゼロに向けたサミットが開催されましたが、加盟国の温度差が目立ちドイツ、フランス、英国、中国は前向きな内容を発表しましたが、なぜか日本、アメリカの発言がありませんでした。そんな中スウェーデンのグレタ・トゥンベリさん16歳は「緊急性を理解していない、次世代につけ回すつもりですか」と各国の首脳に対し不満を募らせ、怒りに声を震わせ涙ながらに呼び掛けた事は、皆様ご存じの通りです。季節の変わり目が鮮明ではなく夏の猛暑日の増大、落雷、竜巻、暴風雨、そのたびに人命に係わる大きな被害が年々増大しつつあります。

産業革命以来平均気温が1度上昇、2050年までには温暖化排出ガスをゼロにし、気温の上昇を1.5度に食い止める目標を挙げておりますが我が日本も原子力発電の事故以来ますます石炭による火力発電に移行しつつある現状ですと目標達成はとても困難であります。気温上昇と共に地中の水分が蒸発し緑が枯れて大地が砂漠化し不毛地となる一方で空に昇った水分が集中して降り注ぎ集中豪雨となり町や村を押し流す。これが繰り返されれば食料不足になり、安住の場所が無くなり、経済の発展に伴う文化生活も脅かされることとなり他人事ではありません。今ここで私たちロータリア

ンには何が出来るのでしょうか。地域の青少年育成には特に力を入れている、伊那ロータリークラブとしては、課外学習のような交流の機会を利用し、若者の意見、希望等を聞き今後の奉仕活動の指針としていければと思います。

幹事報告



1. 地区職業奉仕委員長より、「出前講座」について、実施後報告書提出の依頼が参りました。
2. 須坂ロータリークラブより、第26回インターアクト地区大会報告書が参りました。

【10月のプログラム】

(経済と地域社会の発展月間、米山月間)

3日(木) 休会(特別休会)

10日(木) 指名委員委嘱、米山奨学生卓話

17日(木) 休会(規定による休会)

24日(木) 卓話 ※13:35 理事会

27日(日) 地区大会(まつもと市民芸術館)

31日(木) 27日(日) ~ 振替

☆お知らせ

・第60年度2期分会費61,000円(会費55,000円、周年事業準備積立金2,000円、ポリオプラス寄付金3,500円、平和センター寄付金500円)及びロータリー財団年間1万円寄付分割納入の方は2,500円を、10月10日頃銀行口座より引き落とさせていただきますので宜しくお願い致します。

委員会報告

○「伊那ロータリー杯」開催報告 山崎秀亮青少年奉仕委員長

雨で開催が危ぶまれましたが、無事ロータリー杯が開催できました。優勝 箕輪、準優勝 辰野、3位 飯



島、4位 伊那という結果となりました。

朝ぎりぎりまで迷いましたが、選手の皆さんの行いが良かったのか閉会式までプログラム通り行えました。ご協力ありがとうございました。

○ RID2760「第7回ワールドフード+ふれ愛フェスタ」のご案内 本田敏和 SAA



10月12日(土)13日(日)に第2760地区RC主管でイベントが行われます。今回尾張旭RCよりお誘いいただき出展することとなりました。

もしご都合よろしければ、一緒に参加いかがでしょうか。11日晩に尾張旭RCの皆さんとの懇親会、12日は例会にも参加の予定です。

「WFF」で検索していただくと詳細がわかります。

出席報告 会員数56名 内出席免除17名
長欠0名 出席者33名 事前メーカーキャップ2名
出席率72.92%

ニコニコボックス

大石ひとみ 本日新施設建設にあたり、地鎮祭を執り行ってきました。安全祈願してきました。
塚越 寛 渋沢栄一が一万円札になります。渋沢栄一賞を頂いた私にとって嬉しいことです。
串原弘樹 本日卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

藤澤秀敬・藤澤洋二 お陰様で伊那バスは今年創業100周年を迎えました。100周年の記念事業として、新宿線のバス1台に、当社の栽培する夏秋イチゴ「恋姫」のラッピングを行い、伊那と恋姫イチゴをアピールすることに致しました。9月28日に伊那バスターミナルで発車式を行います。宜しくお願い致します。

在籍祝 小坂樫男

会員卓話 串原 弘樹会員

演題 「電力の安定供給に向けて」



昨年7月に入会させていただいた中部電力の串原です。昭和41年生まれの53歳で出身地は下伊那郡下條村です。現在は飯田市にて妻と2人の娘そして妻の両親と暮らしています。伊那での勤務は入社するとき以来約30年ぶりです。

今回関東地方を襲った台風15号により、特に千葉県内で甚大な住宅被害や大規模な停電(最大

停電戸数93万戸)が発生しました。東京電力から全国の電力会社へ復旧応援の要請がなされ、私が勤務している伊那営業所からも交代で延べ17名が現地へ出向しました。現地に出向した部下の話では、長引く停電で不便な生活を強いられているにもかかわらず、遠くから復旧応援に駆けつけたことに対して感謝や激励の言葉をかけてくださった住民の方も多くいて、昼夜を徹した作業により疲労が溜まる中でとても励みになったとのことでした。

今回の台風では記録的な強風(瞬間最大風速57.6m/s)により多くの木や電柱などが倒れて道を塞ぎ、被害状況の把握や復旧作業がなかなか進まず、過去の台風と比べても例がないほど停電が長期化しました。

昨年の9月、中部電力管内でも続けて襲来した台風21号と24号により、平成以降では最大規模の停電被害(台風21号70万戸、24号102万戸)が発生しましたが、どちらも停電発生から3日以内でほぼ100%復旧することができました。ただし、ごく一部の地域では復旧までに一週間近くの日数を要してしまったという大きな反省に立って、現在中部電力では停電の早期復旧に向けた様々な取り組みを進めています。今回のように、停電復旧の大きな妨げとなる倒木や土砂の除去等に向けては、私ども電力会社と県や各市町村とが適切に情報を共有しながら協力し合って対応にあたるのが極めて重要であると考え、災害・停電発生時における各市町村との円滑な相互連携を目的とした協議や協定書の締結を進め、行政との情報伝達訓練なども実施しています。

私ども電力会社は、来年4月から送配電部門の分社化(発送電分離)が法律で義務付けられています。私が勤務している伊那営業所も送配電部門に属しますので、来年4月から「中部電力パワーグリッド(株)」と社名が変わります。社名は変わっても、地域のみなさまの暮らしに欠かせない電気を安全・安価かつ安定的にお届けするという使命はなんら変わりません。これからも皆さまのご協力とご理解も賜りながらその使命を全うしていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。